

業務状況説明書(水道事業)

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

1. 令和3年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア. 業務

区分	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数(戸)	10,673	10,652	△21	99.8%
有収水量(m ³)	1,304,053	1,313,450	9,397	100.7%

イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
深田地区配水管布設工事	16,594,600	
緒方地区配水管更新工事	19,360,000	
深田地区老朽管更新工事	7,835,300	R3.9.30 完成
大原配水池加圧ポンプ制御盤更新工事	18,619,700	
大野浄水場膜ろ過装置更新工事	10,560,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	545,381,000	229,363,257	42.1%	
	営業収益	450,943,000	228,946,434	50.8%	
	営業外収益	94,436,000	416,823	0.4%	
	特別利益	2,000	0	0.0%	
支出	水道事業費用	580,713,000	158,407,192	27.3%	
	営業費用	524,695,000	134,325,626	25.6%	
	営業外費用	50,917,000	24,071,666	47.3%	
	特別損失	724,000	9,900	1.4%	
	予備費	4,377,000	0	0.0%	

イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	109,997,000	0	0.0%	
	企業債	48,400,000	0	0.0%	
	出資金	56,134,000	0	0.0%	
	工事負担金	5,462,000	0	0.0%	
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	357,566,000	127,657,592	35.7%	
	建設改良費	128,638,000	16,171,585	12.6%	
	企業債償還金	223,928,000	111,486,007	49.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
3,276,428,200	0	111,486,007	3,164,942,193	

2. 令和2年度決算の概要

(1) 事業の状況

ア. 業務

区分	令和元年度	令和2年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	25,325	25,325	0	100.0%
年度末給水人口(人)	23,536	23,214	△ 322	98.6%
普及率(%)	92.9	91.7	△ 1.2	98.7%
年度末給水戸数(戸)	10,658	10,659	1	100.0%
年間有収水量(m ³)	2,571,003	2,582,675	11,672	100.5%
年間総配水量(m ³)	3,852,265	3,650,955	△ 201,310	94.8%
有収率(%)	66.7	70.7	4.0	106.0%
日最大配水量(m ³)	11,413	10,887	△ 526	95.4%
日平均配水量(m ³)	10,525	10,003	△ 522	95.0%
1人1日平均配水量(ℓ)	447	431	△ 16	96.4%
1人1日平均有収水量(ℓ)	298	305	7	102.3%

イ. 建設改良事業

建設改良工事では、128,671,626円の事業費をもって、施設関係では犬飼町犬飼浄水場中央監視装置更新工事、三重町深田地区加圧ポンプ場築造工事等を実施しました。配水管路については三重町久知良地区配水管布設工事を実施しました。また、県道改良工事に伴う配水管移設工事を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
深田地区加圧ポンプ場築造工事	23,870,000	
久知良地区配水管布設工事	9,927,500	
犬飼浄水場中央監視装置更新工事	71,500,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額552,061,000円に対し、決算額551,809,116円(うち消費税及び地方消費税額 41,268,055円)で、251,884円の減となっています。また、前年度に比べ税抜金額で29,575,097円(6.1%)の増となっています。内訳として、営業収益で648,097円(0.2%)増、営業外収益で28,593,506円(41.7%)増、特別利益で333,494円(321.3%)増となっています。

一方、収益的支出は、予算額587,411,000円に対し、決算額567,413,820円(うち消費税及び地方消費税額 25,180,396円)で19,997,180円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で7,761,407円(1.5%)の増となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費13,948,378円(8.8%)増、配水及び給水費1,323,021円(△1.6%)減、総係費6,723,881円(24.3%)増、減価償却費10,944,642円(△5.3%)減、資産減耗費3,171,719円(799.6%)増、営業外費用で企業債利息3,254,036円(△6.0%)減、特別損失720,487円(119.4%)増となりました。

結果、収益的収支で31,692,363円(前年比△40.8%減)の当期純損失となりました。

(単位：円・税抜)

科目		令和元年度	令和2年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	480,965,964	510,541,061	29,575,097	106.1%	
	営業収益	412,227,026	412,875,123	648,097	100.2%	
	営業外収益	68,635,141	97,228,647	28,593,506	141.7%	
	特別利益	103,797	437,291	333,494	421.3%	
支出	水道事業費用	534,472,017	542,233,424	7,761,407	101.5%	
	営業費用	475,597,305	487,173,620	11,576,315	102.4%	
	営業外費用	58,271,158	53,735,763	△ 4,535,395	92.2%	
	特別損失	603,554	1,324,041	720,487	219.4%	
	予備費	0	0	0	—	

イ. 資本的収入及び支出

次に、資本的収入は、予算額132,418,000円に対し、決算額110,206,436円で、22,211,564円の減となっています。また、前年度に比べて53,992,323円（96.0%）の増となっています。内訳として、企業債で54,700,000円「皆増」、出資金で298,597円（△0.5%）減、工事負担金で409,080円（△56.7%）減となっています。

一方、資本的支出は、予算額411,896,000円に対し、決算額359,672,748円（うち消費税及び地方消費税額11,658,599円）で、52,223,252円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で114,595,834円（49.1%）の増となっています。内訳として、建設改良費61,906,450円（93.9%）増、企業債償還金52,689,384円（31.5%）増となりました。

(単位：円・税込)

科目		令和元年度	令和2年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	56,214,113	110,206,436	53,992,323	196.0%	
	企業債	0	54,700,000	54,700,000	皆増	
	出資金	55,494,833	55,196,236	△298,597	99.5%	
	工事負担金	719,280	310,200	△409,080	43.1%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	238,365,326	359,672,748	121,307,422	150.9%	
	建設改良費	70,906,099	139,524,137	68,618,038	196.8%	
	企業債償還金	167,459,227	220,148,611	52,689,384	131.5%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額249,466,312円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,308,899円、過年度分損益勘定留保資金100,676,970円、当年度分損益勘定留保資金38,700,563円及び建設改良積立金101,779,880円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況

(単位：円)

前年度残高	決算年度中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
3,441,876,811	54,700,000	220,148,611	3,276,428,200	